

新築大作戦

23

私の研究室では二年前あることになりました。こやせばよいことになりました。県内の住宅約百軒をの家の居住者は床下から対象として、シックハウ室内に入ってくる防虫剤によって、シックハウスの発生が少ない建材を使用することや、有機溶剤系の塗料や接着剤は使用しないことが重要です。

この調査によれば、約三割の住宅で、ホルムアルデヒドの濃度が厚生労働省のガイドライン値を超えています。特に新築してから五年以内の住宅は、ガイドライン値を超える傾向がありました。

最近では、下越地区で基礎部分を外から断熱した住宅で、床下部分に白アリ対策のための薬剤処理を行った例があります。この家の場合には、床下は室内と同じ空間に

あることになりました。こやせばよいことになりました。新築する際に化学物質の発生が少ない建材を使用することや、有機溶剤系の塗料や接着剤は使用しないことが重要です。最近ノンホルム接着剤などが市販されていますが、これらの中にはホルムアルデヒドを使用し

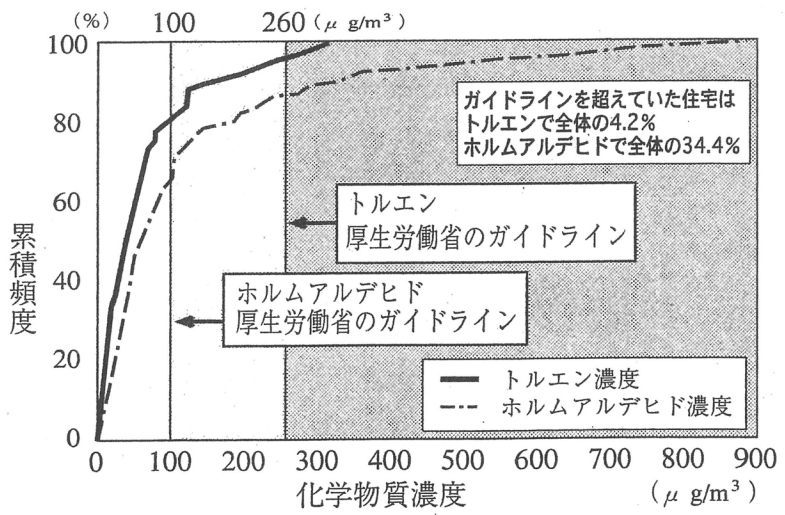
シックハウス(中)

換気・空調が重要に

風が減ったことが原因でない代わりに、人体に有害な化学物質の使用は、家具、衣服の防虫剤、芳香剤、漂白剤などの生活用品からも発生するとは限りません。自然の木材からは、ピネン

を少なくして換気量を増やすために、発生量を必要です。また、化学物質は住宅

■県内住宅の化学物質濃度調査■



ます。これは木造住宅では防ぎようがありませんので、気密住宅では換気で発生した化学物質を希釈することになります。

いまや高断熱・高气密住宅には、二十四時間換気が常識になりましたし、建築基準法も換気設備を義務づける方向で改正が進んでいます。

すき間を極力少なくしてその代わりに換気設備を運転することは一見、無駄のように思われますが、室内の空気を清浄に保ち熱的な快適性を得るためには大変重要な役割を持っています。

住宅でもきちんとした換気・空調計画を行い、適正に運転することにより、健康で快適な環境を得ることができま

す。(赤林伸一・新大自然科学研究科助教授)